

授業概要

本授業は、アメリカ合衆国とラテン・アメリカを、主に相互の歴史的関係性の中で考察し、両地域の文化を見る基礎的な枠組みを提示します。

授業計画

第1回	「アメリカ」とは何か①
第2回	「アメリカ」とは何か②
第3回	奴隷制度と三角貿易
第4回	メキシコ・アメリカ戦争(米墨戦争)
第5回	スペイン・アメリカ・キューバ戦争(米西戦争)
第6回	南米の日系移民
第7回	従属理論と世界システム理論 - アメリカの裏庭としてのラテン・アメリカ
第8回	バティスタ政権とキューバ革命
第9回	ベネズエラとウゴ・チャベス
第10回	南米と野球
第11回	南米と音楽
第12回	映画に見るアメリカ合衆国とラテン・アメリカの関係①
第13回	映画に見るアメリカ合衆国とラテン・アメリカの関係②
第14回	映画に見るアメリカ合衆国とラテン・アメリカの関係③
第15回	まとめ
第16回	学期末筆記試験

到達目標

特定の国家や地域の文化的諸問題は、他の国家や地域との歴史的関係性の中において、よりよく理解できる場合があります。政治経済的な相互関係が密接である場合は特にそうです。本授業では、最初に、「アメリカ」の地理的概念をしっかりと理解し、そのうえで、アメリカ合衆国とラテン・アメリカ諸国がどのように関係してきたのか、主要な歴史的事項に光を当て、最後は、ラテン・アメリカとアメリカ合衆国の文化交流の諸相を、音楽や映像を通して学びます。

履修上の注意

履修：積極的に取り組む意思が求められます。出席・遅刻等の扱いは、大学の規定に準じます。
授業：日本語で行います。映像・音声資料も取り入れます。また、テーマによっては、少人数グループに分かれたディスカッションや発表等も行います。

予習復習

予習：新聞等で当該地域に関連した記事等に目を通す習慣をつけると、理解の助けになります。
復習：ノートテイキングを怠らず、授業後に情報のまとめなどをすると、知識の整理になります。

評価方法

学期末筆記試験とレポート一通の提出で評価します。どちらかひとつが欠けても成績要件を満たしません。レポートの詳細は授業中に伝えます。大学既定の出席回数を満たさない場合は、期末試験受験資格を喪失します。

テキスト

テキストはありません。参考文献として次のものを挙げておきます。増田義郎『物語ラテン・アメリカの歴史ー未来の大陸』（中公新書）。牛島万他編『アメリカのヒスパニック＝ラティーノ社会を知るための55章』（明石書店）。